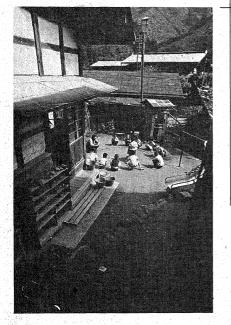
一、二年生七人(左側)と、四人の未就学幼児がいっしょに勉強



の人の家のご祝儀と小郭晙など、 教えな子らはすでに自人を教えの人の家のご祝儀と小郭晙など、 一教えな子らはすでに自人を教えな子らはすでに自人を教えな子らなりでする。 私の主義は で優等質の少女も生んだ。いまはくだ。 はなするであった。 た。死んだ人間が欲をがいても仕一教えているが、一種後は一人にな

今でも持ってきてくれます。所にに搭(とう)乗中、米機に撃ついくるし、おかずは近所の人たちがいりり、中国大陸で九七式市場乗機

ません。米は藤岡の家から持って

場の別在『すりばち荘』も後任の

ありますから、

会うには困らない
生は、一度目の若を閉じょうとし

されて九死に一生を得た先生の人

な一人で買った。その譲渡が村人、関長に電話を入れてみると、総工

に伝わったのだろう。先生に協力、数四百万円のうち単元負担金とし 「一体、そんなに自世を投じてか、宿舎用に置って改造した元儀

て先生は 五十万円を 寄付するほ

する人も出はじめた。

なんの野託もなくそういう先生 いるのは後年の先生がようづきしなんの野託もなくそういう先生 いるのは後年の先生がようづきし

ってしまう。先生の一番心配して

一、一年生七人と果就学児四人を

へた人なら「あー、あの先生か」と思い出されるであろう。多野部上野村東小学校野楽沢分校につとめて二十三年、資春を山東の小学校一、二年生のためにおどげた一教 T.竟に先生、ついに山を下る決談」などといってもピーンと来ないかも知れない。 しかし 「きご先生とすりばち学校」 写真渠 「すりばち学校の子 J もたち」 などを説 しかも教材、教員いっさいをみずからの出版による印税でかせる出したあの先生が、ついに来着山を下る決意をしたのである。





を似て手造りの校舎もガラス張り いるんかも知れません。まあ、釆皮なきの屋根を作った。村民の刀 ないわたしには自姓が一番向いて

年三月までは一生懸命本を掛い

しながら手間質をかせいで杉で移らします。人を教える

居間で著去の温い出を話してくれた。

てからからからからからからからからないとうからない

をながめながらたどりついた分校時間、下久保ダムや三渡石の景観 くりした。本によると、校と書った決意がようやく二十三年 てからの人生は拾いものかも知れ 戦争で死人が明だから、ここへ米 ないでしょうかね。 わたしは一匹

の中にプランコ、すべり台、鉄棒 せんよ。五十つら下げて一年生と六平方が(二十字)とあるが、そ この辺が私の引けざわかも知れま

一つしかない教筌とむねつづきのう。ネスミのために米を態屋のす。みに置いたら、自分より大きい虫本当に恐縮しきった山田先生は、れるネスミとクモだけだったとい

を描く程度なのだ。

小さな校庭でさあ体操

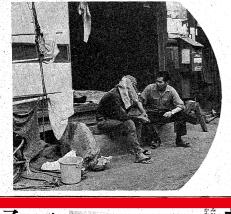
かにの本

■子どもを悪くする手引

ザルツマン著、村井実訳著 五〇〇円

学校の図書館頭角けの図書もみん ちなみに上野村も印税で買った、そとととにある こみます」という

*もう仕事は終わりかネ?まあがんばってくんな



まい 0) 詩の教室

隣の農家もわが家のよう。古老も先生には一目置いている。



かたふやしかた 600円

魚・貝かたふやしかた

たくさんの写真と絵で答えた科学の芽を伸ばす本

こどもの質問に答うえる本 全国のマスコミが絶賛した合間の分校の20年の

すりばち学校の子どもたち きご先生とすりばち学校 りばち学校の22 野栗沢分校20年の子どもの詩集 四八〇円 美しい写真と子どもの文による 000E

群馬県多野郡上野村野栗沢分校・山田修著 日本作文の会編集・子どもの目・各五九〇円 せんせい・先生 なるたまのまなか おかあさん・お母さん、けつあっあがるよ おとうさん・おとうちゃん、だいすき

子どものレンズの中のお父さん、お母さん、先生 親子読書のテキスト、三五万人が参加している本椋鳩十著・改訂新版………五〇〇円

常母と子の2分間読書 親と子の心 親の教育をささえるもの、親ではできない教育

親でなければできい教育 品川孝子著・心理学者・ロングセラー 五〇〇円

心間にくずはない。 遊べの教育 わたしの教育信条・すなおで豊かな感情を 他 金沢嘉市著・前東京代沢小校長 四二〇円 子どもにきらわれる法・信用されない法・しつけの原点 ◇育児・しつけ・教育書◇ **** 子どもの本・教育の本の出版社親と子のしあわせを求めて歩む あすなろ書房